

大規模な路線改編のフォローアップによる利用動向の考察

— 愛知県みよし市「さんさんバス」を事例に —

公益財団法人 豊田都市交通研究所 楊甲*, 樋口恵一、福本雅之、安藤良輔

愛知県みよし市・さんさんバスの紹介

「みんなで築く“ささえあい”と“活力”の都市」を目指して

地理 愛知県のほぼ中央、西三河地域の北西部 豊かな自然と活気ある産業、香り高い文化の調和がとれた住環境に恵まれたまち

人口 60,452人(平成28年6月1日現在)

交通 鉄道: 名鉄豊田線の停車駅(黒笹・三好ヶ丘)が北部地区に偏る
バス: 名鉄バス、三好ヶ丘ループバス、さんさんバス(巡回バス)

【運行目標】 「市民のだれもがバスを通じて市内の行きたい場所に行くことができる」公共交通体系の実現を目指す

【運行目的】

- 市内交通空白地帯の解消
- 高齢者・移動困難者の社会参加の支援
- 公共施設等への交通手段の確保
- 地域間の交流促進
- 交通安全と円滑化の促進

【運行時間】 生活路線(1日25便): 6:44~20:46
交流路線(1日25便): 7:14~21:05

【運賃体制】 1乗車100円

- 未就学児及び介助者は無料対象
- 乗合タクシーからの乗換えは無料



路線改編(H24)・フォローアップ調査の企画

背景

- 乗合タクシーの利用者が増加したことによる経費増大
- 開発計画による新規需要の発生

内容

- バス車両の増車「4台⇒6台 各路線3台」
- 運行本数の増便「各路線: 22便⇒25便」
- 運営時間の拡大「6:40~21:53⇒6:15~22:34」
- 停留所の新設「バス: 8箇所、乗合タクシー: 4箇所」

特徴 乗継なしでみよし市民病院、豊田厚生病院、商業施設や公共施設へと結ぶための大規模な路線改編

継続的なフォローアップ調査の企画(H23)

【調査目的】

- 大規模な改編後のモニタリング
- 課題抽出及び解決に向けた方向性検討

【調査方法】 利用実態: 乗降バス停のヒアリング調査
利用意識: バス利用者のアンケート調査

【把握内容】

- 大規模な改編による利用者数の変遷傾向
- 交通弱者の高齢者・障がい者の利用動向
- 利用者意識及びサービス満足度の状況
- バス利用促進に向けた方向性への考察

研究目的 継続的なフォローアップの調査結果を把握することで、今後バス利用促進に向けた方向性を考察する。



図1 車内ヒアリング調査の様子



図2 意識調査票回収箱の設置

継続的なフォローアップ調査実施の効果

効果①: フォローアップ調査による迅速・柔軟な対応

【当初の計画】

H23 Plan : 大規模な路線改編の計画
H24 Do : 大規模な路線改編の実施
H24 Check : フォローアップ調査①
H25 Check : フォローアップ調査②
H26 Check : フォローアップ調査③

課題: 所要時間の長さに対する不満

- 対策:**
- 運行時間の短縮(運行経路の見直し)
 - 路線重複区間における運行間隔改善(北部)
 - 停留所を減らした便の創設(利用時間帯外)
 - 名鉄線との乗継の改善(待ち時間の短縮)

【フォローアップによる改善】

H23 Plan : 大規模な路線改編の計画
H24.04 Do : 大規模な路線改編の実施
H24.10 Check : フォローアップ調査①
H25.10 Act : 運行ダイヤ改正
H25.11 Check : フォローアップ調査①
H26.10 Check : フォローアップ調査②
H27.11 Check : フォローアップ調査③

注: 調査日は秋の平日、休日各1日

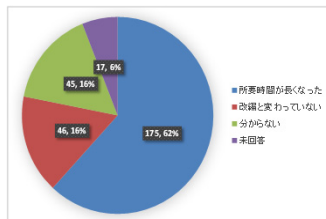


図3 所要時間の長さ(H24年度の調査結果)

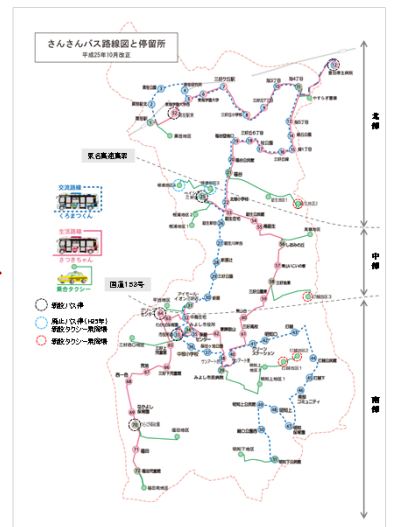


図4 さんさんバス路線図と停留所(H25.10)

効果②: 路線改編による利用動向の把握

■ 利用者数の増加(図5に参照)

- バス路線運行本数の増便(H24の路線改編内容:「22便⇒25便」)
- 新設バス停留所利用者数の増加(豊田厚生病院、ベシア三好店、市役所西)
- アイモール・イオン三好店バス停利用者数の増加(H24: 460人、H27: 545人)

■ 高齢者・障がい者の地区間移動割合の増大(図6に参照)

- 中部⇨南部の流動の増加傾向(H24: 96人、H27: 125人)
- 北部⇨中部の流動の増加傾向(H24: 61人、H27: 105人)
- 路線改編は高齢者・障がい者の社会参加を促す効果がある(運行目標)

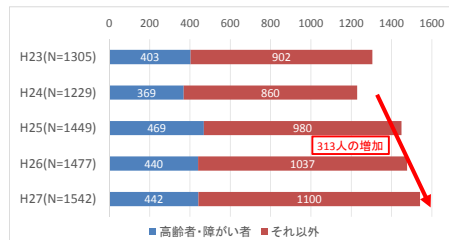


図5 高齢者・障がい者及びそれ以外の利用者数の変遷

表1 新設バス停留所の乗降者数の変遷(単位: 人)

停留所名称	H23	H24	H25	H26	H27
豊田厚生病院	-	196	319	359	395
根浦	-	5	-	-	-
東名三好	-	5	-	-	-
ベシア三好店	-	131	92	128	188
市役所西	-	39	30	39	52
黒笹駅東	-	6	3	1	3
グリーンセンター	-	1	1	2	8
わらび福祉園	-	7	7	6	11

注: H25年10月、根浦、東名三好バス停を廃止し、乗合タクシー停留所として設置

◆利用者数がより多い停留所は豊田厚生病院、ベシア三好店、市役所西

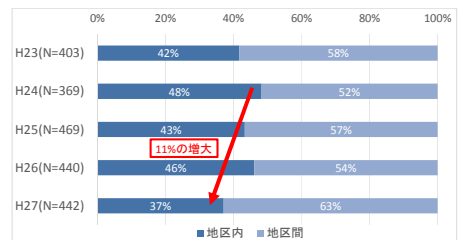


図6 高齢者・障がい者の地区内・地区間移動割合の変遷

まとめおよび利用促進に向けた方向性

■ 路線改編に対するフォローアップ調査の効果

- 課題を明確化し、早急に対応することにより、利用促進につながった
- 調査結果により、大規模な路線改編による利用動向を把握できた
 - 利用者数の増加
 - 高齢者・障がい者の地区間移動割合の増大

■ 利用促進に向けた方向性

- 平日・休日での異なる運行ダイヤの導入検討
- 高齢者に向けた利用促進方策の実施検討
 - さんさんバスの強みをさらにアピールする
 - 高齢運転者に対するモビリティ・マネジメントの実施

謝辞

本研究は、さんさんバス路線再編フォローアップ調査委託の成果の一部である。調査やとりまとめに際し、みよし市役所企画政策課の皆様方から多大なるご尽力を頂いた。ここに感謝の意を表す。